

資料丙第二百六十八號 B

(昭和十七年五月印刷)

重慶政權の鐵路建設の現況

極秘

2

東亞研究所

0897

686.222
N



擔當者 第三部 中 込 英 三

防衛研修所戦史室

戦史室

0898

聖戦四年皇軍は支那大陸の廣大なる地域に亘つてこれを占領し、亦封鎖

聖戰四年皇軍は支那大陸の廣大なる地域に亘つてこれを占領し、亦封鎖作戦において重慶の死命を制し、重慶政權は第三國の援蔣力に依存して漸く余喘を保つてゐる現狀である。かゝる現狀に於ては重慶政權にとつては交通建設こそ當面の最も急を要する問題であらう。こゝに重慶政權の鐵路建設の動向並に現況を明かにする所以である。従つて第一章に於て事變前に於ける鐵路建設の動向を述べ、第二章重慶政權の鐵路政策に於て交通部機構の戰時編成、輪轉材料、運輸手段、勞働力の奥地移動の狀況を明かにし、鐵路建設の現況を説明すると共に借款關係をも敘述した。輸送能力及び營業狀況については資料の僅少と正確なる情報が缺如してゐる關係上全部を記載する事が出来なかつたが、之れは今後の調査研究に俟ち度い。